2017年
(平成29年)
7月
第152号

青い鳥

支える心とおもいやり

目　次

1 …… 事業活動の永続が法人経営の基本
兵庫県社会福祉事業団
常務理事兼事務局長
北村 悦伸
2 …… 事務局だより／平成28年度決算報告
3 …… 平成28年度事業報告
4 …… 防犯への取り組み
平成29年度 新規職員集合研修の実施
フレッシュマン紹介
5 …… シリーズ「次長・課長に聞く」(第17回)
洲本市五色健康福祉総合センター
五色・サルビアホール課長(地域支援担当)
梶原　香子
シリーズ「事業団事業紹介」(第26回)
シリーズ「ペンりれい」
6～8 … スポーツだより／文化だより
施設だより／あとがき

事業活動の永続が法人経営の基本

兵庫県社会福祉事業団
常務理事兼事務局長
北村　悦伸

青空に真っ白な入道雲が鮮やかに映える季節を迎えました。

さて、私達の事業団では、先月、定時評議員会と理事会が開催され、新たな理事や監事もお迎えして、改正社会福祉法に基づく新体制が発足しました。

このたびの改革で、私達は、「特定社会福祉法人」としての新たな位置づけを得ました。これは、サービス活動収益が三十億円を超える法人について適用される名称ですが、会計監査人の設置と内部統制システムの構築が義務付けられています。特に、会計監査人では、三大監査法人の一つである「有限責任監査法人トーマツ」にお引き受け頂きました。

ところで、今回の制度改革は、ガバナンスの強化や役員責任の明確化など、一般企業の経営原則を社会福祉法人に導入するものですが、ここで私達が、改めて、肝に据えるべきことは、「事業活動の永続こそが法人経営の基本である」という大原則でしょう。営利法人は利益追求を第一としますが、それは、法人活動の継続に必要な資金を確保するためのものです。「法人」に寿命はありません。日本には、一千年の歴史を持つ企業が七社あるそうです。永久に存続し続けることが、法人の使命です。「継続企業の前提」に疑義があってはならないのです。

幸い、事業団は、半世紀以上にわたり存続して来ました。しかし、その大半は、県施設の指定管理を受けるのみで、自律的に施設経営を担ってからは、まだ十年余りです。特に、老朽化した施設の改築をはじめ、人材の確保と育成は、今後の事業継続の帰趨を決すると言っても過言ではありません。介護報酬の改定など、激変する経営環境に果敢に、機敏に対応しつつ、経営効率を上げ、果実を利用者サービスの向上と、その担い手や地域に還元していく。収益性を高め、適切に費用化することで成長していく好循環を持続していきましょう。

私達には、未来への責任があるのです。

発行　社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
神戸市西区曙町1070
TEL (078)929-5655　FAX (078)929-5688
電子メール info@hwc.or.jp　ホームページ http://www.hwc.or.jp/

事務局だより

理事会・評議員会概要

第一八二回理事会

（平成二十九年五月三十一日（水）事務局第一会議室）

一　平成二十八年度事業報告について
二　平成二十八年度決算について
三　新理事、新監事候補者の定時評議員会への議案提出について
四　会計監査人候補者の定時評議員会への議案提出について
五　役員等に対する報酬等の支給基準、役員の報酬額の定時評議員会への議案提出について
六　平成二十九年度定時評議員会の招集について
七　社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団資格手当、職務手当及び業務手当支給規則の一部を改正する規則の制定について
八　施設長の選任について
九　役員等損害賠償責任保険への加入について

報告事項
（一）社会福祉充実残額について
（二）平成二十八年度事故・事件、苦情について
（三）平成二十八年度県・市指導監査指摘事項への対応について
（四）寄附の状況について

平成二十九年度定時評議員会

（平成二十九年六月二十二日（木）事務局第二会議室）

一　平成二十八年度決算について
二　次期理事の選任について
三　次期監事の選任について
四　会計監査人の選任について
五　役員等に対する報酬等の支給基準、役員の報酬額について

報告事項
（一）平成二十八年度事業報告について
（二）社会福祉充実残額について
（三）平成二十八年度事故・事件、苦情について
（四）平成二十八年度県・市指導監査指摘事項への対応について
（五）寄附の状況について
（六）社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団資格手当、職務手当及び業務手当支給規則の一部を改正する規則の制定について
（七）施設長の選任について
（八）役員等損害賠償責任保険への加入について

第一八三回理事会

（平成二十九年六月二十二日（木）事務局第一会議室）

一　理事長の選定について
二　副理事長、専務理事、常務理事の選定について
三　内部管理体制基本方針の策定について
四　ガバナンス推進計画の改定について
五　社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団監事監査規程の制定について
六　会計監査人の報酬について
七　評議員候補者の推薦について
八　社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団職員給与規則の一部を改正する規則の制定について

平成28年度　決　算

貸　借　対　照　表

平成29年3月31日現在

（単位：円）

資産の部

大	中	小	当年度末	前年度末	増　減
流動資産			5,079,968,798	4,684,227,757	395,741,041
固定資産			15,590,507,886	14,687,061,082	903,446,804
資産の部合計			20,670,476,684	19,371,288,839	1,299,187,845

負債の部

大	中	小	当年度末	前年度末	増　減
流動負債			2,104,272,034	2,088,704,176	15,567,858
固定負債			2,211,963,495	1,520,567,449	691,396,046
負債の部合計			4,316,235,529	3,609,271,625	706,963,904
純資産の部					
基本金			11,000,000	11,000,000	0
国庫補助金等特別積立金			8,023,565,441	8,189,193,400	△ 165,627,959
その他の積立金			3,212,451,946	3,027,982,946	184,469,000
次期繰越活動増減差額			5,107,223,768	4,533,840,868	573,382,900
	（うち当期活動増減差額）		757,851,900	561,440,378	196,411,522
純資産の部合計			16,354,241,155	15,762,017,214	592,223,941
負債及び純資産の部合計			20,670,476,684	19,371,288,839	1,299,187,845

事業活動計算書

（単位：円）

科　目		決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益(1)	17,828,728,516
	サービス活動費用(2)	17,110,805,682
	サービス活動増減差額(3)＝(1)-(2)	717,922,834
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益(4)	39,794,890
	サービス活動外費用(5)	18,455,429
	サービス活動外増減差額(6)＝(4)-(5)	21,339,461
経常増減差額(7)＝(3)+(6)		739,262,295
特別増減の部	特別収益計(8)	319,051,111
	特別費用計(9)	300,461,506
	特別増減差額(10)＝(8)-(9)	18,589,605
当期活動増減差額(11)＝(7)+(10)		757,851,900
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	4,533,840,868
	当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)+(12)	5,291,692,768
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	279,101,000
	その他の積立金積立額(16)	463,570,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	5,107,223,768

資金収支計算書

（単位：円）

科　目		決算額
事業活動による収支	事業活動収入(1)	17,868,523,406
	事業活動支出(2)	16,774,543,800
	事業活動資金収支差額(3)＝(1)-(2)	1,093,979,606
施設整備等による収支	施設整備等収入(4)	1,012,474,190
	施設整備等支出(5)	1,485,545,163
	施設整備等資金収支差額(6)＝(4)-(5)	△ 473,070,973
その他の活動による収支	その他の活動収入(7)	322,566,486
	その他の活動支出(8)	570,569,666
	その他の活動資金収支差額(9)＝(7)-(8)	△ 248,003,180
予備費支出(10)		0
当期資金収支差額合計(11)＝(3)+(6)+(9)-(10)		372,905,453

前期末支払資金残高(12)	3,086,495,897
当期末支払資金残高(11)+(12)	3,459,401,350

各計算書は
（自）平成28年4月1日～（至）平成29年3月31日

平成二十八年度事業報告

1　利用者本位のサービスの提供

(1)　利用者本位で質の高いサービスの提供

ア　障害児者施設機能の充実

①　障害福祉サービス制度改正への対応

②　障害者の就労や地域生活を支援するための拠点機能の強化

③　高齢・重度化に対応した支援

④　被虐待児・発達障害・強度行動障害児者等への支援

⑤　発達障害・被虐待児などに関する専門機関への指導・助言

⑥　こども発達支援センターの運営

⑦　精神障害者の支援技術の習得・実践

イ　高齢者施設機能の充実

①　高齢福祉サービス制度改正への対応

②　個別ケアによる生活の質の向上、生きがいづくりの推進

③　地域医療との連携によるターミナルケア(看取り)の実践

④　くにうみの里の開設・運営

ウ　利用者の人権と個人の尊厳に配慮したサービスの提供

①　人権の擁護

②　サービス評価の実施

③　利用者個別支援の実践

エ　利用者にとって安全で安心なサービスの提供

①　リスクマネジメント体制の推進

(2)　障害者の自立支援と障害者雇用の推進

ア　障害者の自立支援の推進

①　専門的就労支援機能の強化

②　障害者の芸術文化活動支援事業の推進

③　介助犬及び聴導犬認定等事業の実施

イ　障害者雇用の推進

①　就労継続支援(A型・B型)事業等における障害者の働く場の充実

②　事業団施設における障害者雇用の推進

2　地域で支え合う仕組みづくり

(1)　地域で安全・安心に暮らすことのできるサービスの提供

①　地域リハビリテーション支援体制の推進

②　居宅サービス事業等の実施

③　認知症対応型グループホーム、認知症対応型デイサービス事業の実施

④　グループホーム事業における地域生活支援の充実

⑤　地域生活支援事業等の実施

⑥　障害児者施設における相談支援事業の実施

⑦　地域包括支援センター等の運営

(2)　地域の福祉人材の育成支援

①　地域福祉人材育成のための研修実施

②　人材バンク(講師派遣制度)の推進

(3)　地域に開かれた施設運営

①　事業団における公益活動推進プラン(仮称)の策定検討

②　公開セミナー・福祉教育等の実施と地域交流行事等の開催

③　施設運営協議会機能の充実・強化

④　地域防災拠点体制の整備

⑤　くにうみの里におけるコミュニティデザインの推進

⑥　事業団広報の推進

3　医療と福祉の連携による事業推進

(1)　医療・福祉の連携事業の実施

①　リハ医療の3次機能と高度・専門医療の推進

②　高次脳機能障害の支援体制の確立

③　音楽療法士・園芸療法士等による地域の障害者・高齢者等への支援

④　認知症高齢者地域ケアの実践

⑤　認知症疾患医療センターの運営

⑥　体育館を活用した介護予防・健康づくり機能の強化

⑦　セラピストと連携したサービスの提供

(2)　リハ医療・福祉に関する専門的情報の発信

①　障害者スポーツの振興

②　「産・学・官」や「医・工」連携の共同研究による製品化、実用化の推進

③　研究開発や研究成果を取り入れた研修・相談・展示機能等の充実

④　事業団実践・研究紀要の発行

(3)　先進的な研究・実践

①　子どもの睡眠障害治療プログラムの研究・実践及び臨床結果の情報発信

②　ロボットリハビリテーションセンターの運営

4　人材育成と働きがいのある職場づくり

(1)　人材の確保・育成

ア　職員確保対策

①　医師確保対策の実施

②　支援員・看護師等確保対策の実施

イ　自律型組織を担う人材の育成

①　人材育成基本方針の見直し

②　組織性・専門性研修等の効果的実施

③　介護福祉士等の計画的育成、資格取得の推進

④　認知症介護に係る専門人材の育成

⑤　専門職種連絡会の実施

(2)　人事・組織マネジメントの強化

ア　健全な組織運営

①　ガバナンスの推進

②　内部監査と外部監査の実施

③　情報公開・情報提供等による事業団経営の公正・透明化

④　メンタルヘルス対策の充実

⑤　職員からの事業等に関する意見聴取の実施

イ　雇用人事制度改革の検討

5　経営基盤の安定・強化

(1)　事業推進体制等の強化と財務管理の徹底

ア　事業推進体制等の強化

①　事業推進体制の強化

②　事業目標管理(課題解決・目標達成のための取り組み)の強化

イ　財務管理の徹底

(2)　自主経営(事業団立)施設の運営

ア　事業推進基盤の整備

①　くにうみの里の開設・運営

②　計画的な施設の建替及び大規模改修の実施

③　施設のメンテナンスサイクルの確立

イ　事業ごとの運営内容の充実等

①　障害児者施設等の施設入所機能の発揮及び日中活動の利用促進

②　特別養護老人ホーム等の機能の発揮及び居宅サービス等の利用促進

③　浜坂温泉保養荘の収支改善

ウ　指定管理施設の運営と県施策の実践

①　病院経営計画に基づく病院運営

②　県との協働による県施策の先導的役割の実践

あれから一年、防犯への取組

神奈川県相模原市にある津久井やまゆり園で多数の利用者が犠牲となった事件から一年が経過しようとしています。あらためて犠牲となられた多くの利用者とご遺族の皆様方に心より哀悼の意を表します。

事件を踏まえた再発防止対策として、当法人版「社会福祉施設等の防犯対策点検ガイドライン及びチェック表」を作成し、総点検とともに地元警察連携のもとでの研修・訓練も行いました。また県警ホットラインについても二十八年度内に全入所型施設に設置し、二十九年度も拡充していくこととしています。

しかし、一番大切なことは、障害のある方が社会で一番大切にされる社会をつくることだと思います。一番しんどい思いをしている人が一番大切にされる社会でないとだめだと思います。そのために、障害のある人が地域の一員として活動できる場をもっと拡げていきたいと思います。

チームワークを大切にし、自律的に行動できる職員を目指して！

平成二十九年度 新規職員集合研修

今年度の新規職員集合研修は、五月～六月にかけて正規職員を対象に、浜坂温泉保養荘にて実施し、三班計八十三名が受講しました。

研修では、まず事業団倫理綱領の唱和から始まり、事業団の組織・事業計画・諸規則等の概要、社会人として必要な接遇の基本的知識等の講義及び演習、他施設多職種とのグループワークを通じて、事業団職員としての自覚や同じ目標に向かって取り組むためのチームワークの大切さを学びました。

また、理事長をはじめ、役員の方々との意見交換会を行い、各自の現在抱えている課題や今後の抱負等を語り合い、新規職員同士の連帯感を培いました。

今後、自主的・自律的に行動できる職員を目指して、それぞれの職場において、日々の業務に取り組みます。関係の皆様には、ご指導、ご助言をよろしくお願いします。

人の動き

おつかれさまでした

○平成二十九年四月十四日付退職
▼総合リハビリテーションセンター
福祉管理部課長(施設経理担当)付主事・**大野みゆき**、福祉管理部福祉第一課支援員・**山田歩**

○平成二十九年四月三十日付退職
▼総合リハビリテーションセンター
福祉管理部課長(施設経理担当)付主事・**酒井和子**、自立生活訓練部自立生活訓練課支援員・**柏木敏昭**、中央病院看護部看護師・**加藤あゆ美**
▼西播磨総合リハビリテーションセンター
西播磨病院リハビリ療法部作業療法科作業療法士・**糸谷素子**
▼丹南精明園
支援課支援員・**古角智咲**
▼朝陽ケ丘荘
支援課支援員・**長谷川愛**

○平成二十九年五月十二日付退職
▼西播磨総合リハビリテーションセンター
西播磨病院診療部内科医長・**井上広之**
○平成二十九年五月三十一日付退職
▼西播磨総合リハビリテーションセンター
西播磨病院看護部看護師・**西川紺気**
○平成二十九年六月九日付退職
▼総合リハビリテーションセンター
福祉管理部福祉第二課支援員・**古跡純平**
○平成二十九年六月三十日付退職
▼総合リハビリテーションセンター
中央病院看護部主任・**土屋ゆかり**、同看護部看護師・**村上雅美**、同・**伊井篤子**
▼出石精和園
成人支援第二課支援員・**土生田祐子**
▼赤穂精華園
成人支援第一課支援員・**前川百合子**

新たにご活躍ください

○平成二十九年六月一日付転任
▼総合リハビリテーションセンター
参事(総合調整担当)兼福祉管理部長・**塚本浩幸**(総務課長・保育室長兼務免)、福祉管理部参事兼万寿の家所長・**小西久和**(丹寿荘所長)、福祉管理部次長兼総務課長・保育室長・**宗野得喜**(福祉管理部次長兼万寿の家所長)、福祉管理部課長(施設経理担当)付主事・**池田竜也**(くにうみの里)
▼丹寿荘
所長・**植木直子**(参事(施設運営担当))

よろしくお願いします

○平成二十九年七月一日付採用
▼総合リハビリテーションセンター
福祉管理部地域支援課看護師・**田中照恵**
同・**小田マリ子**
▼西播磨総合リハビリテーションセンター
西播磨病院診療部リハビリテーション科医長・**田中貴志**

新規職員研修報告

清水が丘学園

支援員　**松浦　潤弥**（まつうら　みつひろ）

研修では、事業計画や諸規則等を学ぶことで、事業団職員としての自覚を深めることができました。また、多くの同期職員とともに研修を受け交流することで、他職種と連携する大切さを実感できるなど、有意義な研修となりました。研修で学んだことを活かし、支援員として成長していけるよう自己研鑽に励んでいきたいです。

リハビリテーション西播磨病院 看護部

看護師　**山﨑　友梨香**（やまさき　ゆりか）

多職種の方と交流できたことでさまざまな考え方や視点を知ることができました。また、接遇マナーなど今後活用できる技術・知識を学ぶことができました。研修で学んだことを生かしながら事業団の一員としての自覚を持って患者様に接していきたいと感じました。

フレッシュマン紹介

宜しくお願いします

たじま荘
支援課　支援員
赤松　梨子（あかまつ　りこ）

たじま荘に勤めて三ヶ月が経ちました。最初は立ち止まることが多かったですが、先輩方の分かりやすく丁寧なご指導を受け、次にどう動くのかが分かるようになってきました。今後も利用者様に寄り添った介助ができるように先輩の姿を見て学び頑張っていきます。

リハビリテーション
中央病院
看護部　看護師
鳥澤　未来（とりざわ　みらい）

私は中央病院で看護師として働いています。初めてのことばかりで毎日が戸惑いの連続ですが、不安なことは先輩に聞くなど確実に業務を進めていけるよう頑張っています。これからも、戸惑うことがあると思いますが、笑顔で自分らしく頑張っていきたいです。

シリーズ

次長・課長に聞く「利用者本位のサービス提供への取り組み」

第17回

洲本市五色健康福祉総合センター
五色・サルビアホール課長（地域支援担当）
梶原　香子

洲本市五色健康福祉総合センターは平成二十一年から洲本市より指定管理を受け、今年度で三期目の最終年度を迎えます。当センターの地域支援事業所には、居宅介護支援事業所、地域密着型通所介護、訪問介護事業所、障害者居宅介護事業所、グループホーム二カ所（内一カ所は認知症対応型通所介護を併設）の事業所があり、今年度から地域支援担当として、これらの運営に携わっています。

利用者様の多くはセンターのある五色町在住の方ですが、独居の方や日中一人で過ごされている方が大半です。皆様できる限り住み慣れた地域で長く生活できることを希望されていますので、訪問介護・通所介護など各種サービスを組み合わせながらその希望に沿えられるよう支援させていただいています。ご自宅やデイサービスでの様子、自宅の環境などご家族様をはじめ、ケアマネジャー、ヘルパー、支援員、看護師等が情報を共有しながら、サービスを提供しております。

訪問介護では、身体介護の他に利用者様と一緒に掃除や調理を行い、できるだけご自身でできるようサポートし、支援方法を細かく図解化するなど支援の統一化を図っています。

通所介護では、ご自宅での生活がそのまま維持できるよう、生活の中でのリハビリを取り入れるとともに、リラックスして過ごせる環境づくりに取り組んでいます。

グループホームでは、近隣店への買い物・外出や地域のお祭りへの参加、出身地別の初詣、清掃活動への参加など地域住民の一員として変わらず生活ができるよう支援しています。

近年洲本市の中でも同事業所が競合し、また、重度化に伴い、入院や施設入所などで契約者数が減少するなど、経営面でも深刻な時を迎えています。更に今後は総合事業への参入も考えられ、新たな事業展開が見込まれていきます。ご利用者様のニーズに応じたサービスが提供できるよう、皆様の声を聞き、選ばれる施設づくりを目指して取り組んでいきたいと思っております。

シリーズ

事業団事業紹介　第26回

調理部門の直営化

浜坂温泉保養荘

今年度から調理員でお世話になります桑島勝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。このたび、浜坂温泉保養荘調理部門の直営化に伴い、業務委託従業員から事業団職員の一員となりました。更なる身の引き締まる思いですが、お越しいただく皆様方へは、地元食材を生かしたお食事提供はもちろんのこと、常にこだわりと真心のこもった品々で喜んでいただけるよう日々精進してまいりますので、是非ともご家族、グループ様でお越しいただき、その味をご自身の舌でお確かめくださいませ。

PS：和食中心でありますが、ご希望があれば洋食や中華などもお気軽にお申し付けください。

ペンりれい

「脱！中年太り」

くにうみの里支援課
支援員　嶋根　啓城

プシュッ、シュワーと至福の時を迎え、のど元を一気にニガみが通り抜ける。その感覚の虜になり、早十年…ふとお腹を見ると体型は典型的な中年太りになり、健康診断では中性脂肪が一八〇を超えました。このままではまずいと思うものの、これまで体に染みついた習慣を取り除くのは困難で、今まで通りの生活を続けていました。

そんなとき、「フォレストガンプ」という映画を見ました。主人公がただ走り続けるシーンが印象的でした。特に共感した訳でもないですが、単純に走りたいという気持ちが芽生えました。早速ランニングを開始。コースは近所の山で約十㎞。いざ実行してみると走るどころか、歩くのが精一杯でした。次の日には予想通り筋肉痛に襲われ、とても苦痛でした。「ここで止めたら駄目だ」と心に言い聞かせ、継続しました。だんだんと走り続けられる距離が伸び、一ヶ月後には、十㎞を休憩なしで走破することができました。

小さな感動を覚え、疲れにくい体へと変化してきました。今後も継続して、脂肪の燃焼に励んでいきます。次回の健康診断が楽しみです。

次回は、総合リハビリテーションセンター福祉管理部施設経理担当主事　池田　竜也さんです。

スポーツだより

第11回 兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会に出場

小野起生園

四月三十日（日）（車いすの部）と五月二十七日（土）（立位の部）に、のじぎくスポーツ大会に出場しました。天候もよくスポーツ日和となった当日は、フライングディスクやジャベリックスロー、砲丸投げなど、真剣なまなざしで日々の練習の成果を発揮しました。その結果、二名の方が金メダルを獲得することもでき、笑顔にあふれた一日となりました。

第26回 ひょうご・ゆうあいスポーツ大会に出場

丹南精明園

金・銀・銅メダル多数獲得！

金賞　銀賞　銅賞

五月二十日（土）の「第二十六回ひょうご・ゆうあいスポーツ大会」フライングディスク競技に十三名、二十七日（土）の一〇〇m走に一名、同日のソフトボール投げに二名参加されました。両日ともに大変暑い中、屋外での競技でしたが、汗をかきながらとても楽しそうに参加されていました。

風船バレーボール大会に参加しました

立雲の郷

五月二十三日（火）、朝来市内・隣市の五グループホームが集まり、風船バレーボール大会が行われました。風船がコートに来るたびに「来たで」「頑張って」等、大きな声が上がっていました。トーナメントを勝ち進み、我がたけだ遊友館は準優勝という好成績をおさめることができました。皆さん怪我もなく、良い汗を流されました。

「チコーニャ」県大会2連覇！

出石精和園

チコーニャ facebook で検索！

三月四日（土）に行われた第十三回しらさぎカップサッカー大会にて見事優勝し、大会二連覇を達成しました。

みなさん、facebookでチコーニャFCを応援してください！

神戸市障害者スポーツ大会

あけぼのの家

四月から五月にかけて、神戸市障害者スポーツ大会に出場しました。

今年は卓球・フライングディスク・陸上競技・水泳と全競技に出場し、各競技に若手からベテランの利用者様が参加し、金七、銀五、銅三という好成績を各競技で納めることができました。

上位入賞者の全国大会出場が期待されています。

おおぞらのいえ

おおぞらのいえから六名の児童が神戸市障害者スポーツ大会の陸上競技に出場しました。昨年度初出場したことで、利用児・職員ともに闘志が燃え、おおぞら陸上部を作り練習に取り組んできました。日々の努力があったためか、昨年度より満足度は高かったようです。大きなフィールドでの児童らの姿はとても立派でした。

小児筋電義手バンク ～子どもたちの夢・希望　実現のために～

平成26年度に設置された小児筋電義手バンクは、新聞やテレビなどでも大きく取り上げられ、全国各地から寄附の申し出をいただいております。

平成28年度は、74件1,600万円余りの寄附をいただき、19人の子どもたちに訓練用の筋電義手を用意することができました。寄附をいただいた方々には心より御礼申し上げます。

一人でも多くの子どもたちの可能性を広げる一助となることと信じ、今後も取り組んでまいりたいと存じます。引き続き皆さまのご理解とご支援をお願い致します。

福祉のまちづくり研究所
ロボットリハビリテーションセンター課

文化だより

福祉パチンコ大会に参加

万寿の家

四月十七日（月）、パチンコ店マルカ様の招待により福祉パチンコ大会に五名の利用者様が参加されました。当日は「パチンコは生まれて初めて」と楽しみとちょっぴり不安が交錯しながら遊技が始まりました。パチンコ台の賑やかさと玉が入ったときの面白さからか、皆さん真剣そのもので、普段味わえない感動を存分に味わうことができました。

丹波丹心ファームでいちご狩り

丹寿荘

五月十六日（火）、丹南精明園が運営する丹波丹ファームでいちご狩りを楽しみました。

当日は特養本体の他、デイサービスやグループホームの利用者様も参加され、皆様、真っ赤に実ったいちごを手に取り、カゴいっぱいにいちごを入れて歓声を上げるなど、終始、笑顔に包まれたひとときでした。

「愛の縁日」を開催

五色精光園

六月一日（木）に淡路島露店組合のご厚意により、県立五色学園時代からの恒例行事「愛の縁日」を実施していただきました。ピンス焼き、アイスクリーム、たこ焼き、くじ引き、ヨーヨーの露店が出店され、利用者様に縁日の雰囲気を味わっていただきました。二一三名の利用者様が参加され、「楽しかった」、「美味しいな」といった声が聞かれました。

新たな日中活動のスタート！

のぞみの家

今年度から脳トレ（計算やクイズなど簡単に取り組めるもの）を新たに取り入れたところ、今まで日中活動に意欲的でなかった利用者様が興味を持って参加されるようになりました。「今日はどんな問題？」「こんなん久しぶりやわ」等、職員も利用者様の普段と違う一面が見え、発想力や記憶力など個々の強みや得意なものが見え始めたところです。

観桜会

朝陽ケ丘荘

四月十二日（水）、朝陽ケ丘荘観桜会を開催しました。午前は女性利用者様数名と一緒に桜餅を作りました。慣れた手つきで四〇個の桜餅を仕上げられました。午後からは満開の桜の下、施設前芝生広場にて桜餅とお抹茶で、お茶席を設けました。

天候にも恵まれ、利用者様・面会者の皆様も一緒に、桜を観ながら歌が飛び出るほど、楽しく和やかなひとときを過ごされました。

ことぶき苑

四月六日（木）、毎年恒例の観桜会を行いました。あいにくの雨となり、屋内での実施となりましたが、多くの来賓やボランティアに参加していただき、民謡や踊り、三味線、銭太鼓の演奏を楽しみました。また、会の最後には参加者全員で、東日本大震災の復興支援のチャリティーソングでもある「花は咲く」を合唱しました。

施設だより

児童心理臨床セミナー

清水が丘学園

清水が丘学園では児童心理臨床セミナーを年に六～七回開催しています。子どもへの支援に関するテーマを毎回とりあげており、学校関係や相談機関、福祉施設等の支援者に、毎回二〇名ほどご参加いただいています。参加者の方からは好評をいただいており、地域貢献の一環として、今後も続けていく予定です。

第40回赤穂精華園祭

赤穂精華園

五月十四日（日）、爽やかな天候に恵まれ、地元自治会をはじめ協力団体や各種ボランティア等の協力のもと、園祭が盛大に開催されました。今年も延べ二〇〇〇名の来園者を迎え、楽しい一日を過ごすことができました。今回、保護者会から車椅子利用者の快適な外出支援に役立つようにとリフト車両、マイクロバス各一台を寄贈いただき、園祭に華を添えました。

グループホームの外出支援

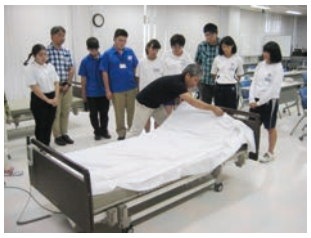
三木精愛園

グループホームでは五月のGWに、『神姫バスで行く日帰りツアー』に参加しました。篠山城下と竹田城跡「丹波春爛漫大感謝」と銘打たれたツアーでは、春の味覚を堪能後、バスにゆられ竹田城跡へ移動。片道約四〇分歩くと、雄大な素晴らしい景色を眺めることができました。また、吉本新喜劇観覧ツアーでは、テレビでおなじみの芸人さんを目の前に大爆笑でした。両日とも楽しい外出となりました。

「介護補助業務基礎訓練」を開催

職業能力開発施設

六月十二日（月）から十六日（金）の五日間、障害者重点分野就労促進事業「介護補助業務基礎訓練」を開催しました。車椅子介助やベッドメイク、食事介助、清掃など介護分野の知識・技能の修得を目的に事業所や学校から十六名に参加いただきました。専門家である講師陣のご協力により実践的な訓練を実施し、受講生からは「介護技術を様々な角度から学べた、介護で就職したい」との感想をいただきました。



家族交流会で大正琴の演奏鑑賞

あわじ荘

五月二十日（土）に家族交流会を開催し、利用者様・ご家族の皆様との交流を行いました。今年はボランティアグループ「琴成会」による大正琴の演奏を鑑賞しました。「故郷」などの懐かしい曲を演奏され、美しい音色に利用者様も一緒になって歌詞を口ずさまれるなど、楽しいひとときとなりました。

家族交流会で吹奏楽の演奏鑑賞

洲本市五色健康福祉総合センター

五月二十八日（日）に今年度の家族会総会を開催し、多数のご家族の皆様に参加していただき、昨年度の事業・決算報告等を行いました。その後のアトラクションでは、淡路吹奏楽団22の方をお招きし、生演奏で馴染みの曲を演奏していただきました。昔のことを思い出し指揮をされる方もおられ、また、一緒に歌ったりと楽しいひとときを過ごしました。

あとがき

近頃よく思うことがあります。それは「時間と命は有限である。毎日をどう過ごすか」ということです。夏も本番、今年の夏はどんな思い出をつくりますか？

さて、次回の「青い鳥」は十月発行予定です。投稿のご希望がありましたらお近くの編集委員までお寄せください。

これから暑い日が続きますが元気にお過ごしくださいませ。

え

表紙・タイトル写真
『総合リハビリテーションセンター
総合相談所（神戸市）』にて撮影

季節の野菜カレー ¥700（サラダ付き）
四季折々の旬な野菜をトッピングしています

〒673-0534 兵庫県三木市緑が丘町本町2丁目3
TEL 0794-84-1014(カーナビ設定:0794-85-8791)

お得な「温泉ランチ」はじめました！

写真は「温泉ランチ」の一例です
※その他いろいろなプランがあります。
詳細はHPをご覧ください！
浜坂温泉保養荘 〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
(0796)82-3645
http://www.hamasaka-ni.com/